

# 令和4年度 学校評価報告書

令和5年3月28日

北海道教育委員会教育長 様

北海道北広島西高等学校長 佐 賀 聡 ㊟

次のとおり令和4年度学校評価について報告します。

## 1 本年度の重点目標

<p>&lt;目指す生徒像&gt;</p> <p>(1)真摯な姿勢で、最後までやり遂げる生徒 【責任感・継続力・自己管理能力】</p> <p>(2)心配りができ、豊かな人間関係を築ける生徒 【自己理解・他者理解・協働力】</p> <p>(3)上向きな心で、主体的に挑戦し、努力する生徒 【自己肯定感・主体性・探究心】</p> <p>&lt;スクールミッション&gt;</p> <p>(1)向学心や探究心を身に付け、自己の進路決定に向けて意欲的に学習に取り組む生徒の育成</p> <p>(2)集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成</p> <p>(3)責任感や社会性を培い、真摯な姿勢で物事に取り組むことのできる生徒の育成</p>
---

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善の方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎力診断テストやスタディサプリ、ベーシックスタディ等を活用して生徒の基礎学力の定着に努めた。</li> <li>○「観点別評価」等テーマを定めた研修会で、教員相互の公開授業及び教科研修課題の実施状況について意見交換を行い、授業改善に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後も、「学び直し(ベーシックスタディ)の充実」と「ICTを活用した授業改善」に取り組んでもらいたい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ベーシックスタディや週末課題の使用教材や実施方法の見直しを図る。</li> <li>○学習状況調査等の分析から生徒の実態把握に努め、保護者と連携した学びに向かう姿勢の改善を図る。</li> <li>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、外部研究会への参加及び校内研修会の実施を継続させる。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全校生徒を対象にダミー人形を使った交通安全教室を実施し、交通安全に対する意識の向上に努めた。</li> <li>○いじめの未然防止や早期発見・早期解決に取り組むとともに、積極的にいじめを認知し、重大事案になる前に組織的に対応するよう努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「基本的生活習慣の確立」、「いじめの未然防止」、「部活動加入率の向上」等に向けて、引き続き、生徒主体による取組の充実を図ってもらいたい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒主体で挨拶や日常のマナーについて考えさせる機会を設ける。</li> <li>○登下校時や休み時間中など、教員が生徒の様子を観察する機会を増やす。また生徒の情報について教員間で速やかに情報共有する。</li> <li>○交通安全教室や情報モラル教室などの実施時期や内容について工夫する。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業講話、キャリア講話等、外部人材の効果的な活用により、発達段階に応じたキャリア教育の充実を努めた。</li> <li>○全教員による面接指導等、進路学習・進路行事を全体の協力を得て実施するよう努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人の話を聞く、挨拶をするなど社会人としての最低限のルールを守ることをしっかりと教え、大学進学を含む全ての生徒の進路希望実現を図ってもらいたい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が直接、上級学校や企業と情報交換できる場をこれまで以上に増やし参加を促す。</li> <li>○ICTを有効に活用し、進路情報を提供するとともに、個別面談を充実する。</li> <li>○進路に対して主体的に活動できる生徒を育成する。</li> </ul>	
地域や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PTA活動で、昨年度まで新型コロナウイルス感染症対策として実施できなかった花壇整備や学校祭の協力等、活動を再開し、以前の活動に近づけるように努めた。</li> <li>○西の里インターンシップでは、地域企業や近隣大学と連携して、以前と近い形での実施に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次年度は、コロナ禍前に近い形で地域行事等ができるようになると思うので、生徒が地域行事等への積極的に参加できるように取り組んでもらいたい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTを活用した保護者・地域との連携を検討する。</li> <li>○安全点検確認の充実と管理マニュアルの徹底。</li> </ul>	
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目指す生徒像を達成するために、HR委員長を中心にクラス討議を実施し、クラス目標を設定し、年度末に達成状況アンケートを実施した結果、意識の向上が見られるようになった。教職員一人ひとりが目指す生徒像を意識した教育活動に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指す生徒像の実現に向けて、「目指す生徒像」と「スクールミッション」の生徒・保護者等へのさらなる周知徹底をしてもらいたい。さらに、生徒募集への新たな取り組み、働き方改革の推進にも取り組んでもらいたい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての教育活動を通して、目指す生徒像の実現の取組を行った。今後は、生徒・保護者・地域住民・教職員と目指す生徒像に関わる意見交流会の実施を検討していく。</li> <li>○教職員で業務改善に向けたグループでの話し合いを行った。今後は、業務の見直しを行い、個々の業務負担の軽減を図る。</li> </ul>	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校HPへの掲載</li> <li>・PTA会議での資料説明</li> </ul>	

## 3 添付資料

- (1) 自己評価書 (2) 学校関係者評価書 (3) 保護者アンケート結果 (4) 教職員アンケート結果

令和4年度 学校関係者評価書

学校名	北海道北広島西高等学校
-----	-------------

1 本年度の重点目標

<目指す生徒像> (1)真摯な姿勢で、最後までやり遂げる生徒 【責任感・継続力・自己管理能力】 (2)心配りができ、豊かな人間関係を築ける生徒 【自己理解・他者理解・協働力】 (3)上向きな心で、主体的に挑戦し、努力する生徒 【自己肯定感・主体性・探究心】 <スクールミッション> (1)向学心や探究心を身に付け、自己の進路決定に向けて意欲的に学習に取り組む生徒の育成 (2)集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成 (3)責任感や社会性を培い、真摯な姿勢で物事に取り組むことのできる生徒の育成
--

組織名	学校評議員会
評価者	
学校評議員 5名	

2 自己評価結果

A= 3.3以上 B= 3.0以上 C= 2.9以下 D= 2.5以下

評価項目・指導等		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価結果内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善方策の適切さ
項目	小項目						
保護者・地域との連携等	ホームページや一斉メール配信等での情報発信を通じて、保護者との情報共有や連携を図っている。	A	A	○ICTを活用した保護者・地域との連携を検討する。 ○安全点検確認の充実と管理マニュアルの徹底。	A	B	A
	PTA活動が活発に行われている。	B	A				
	施設・設備の整備や防災教育の充実により、生徒が安全・安心に生活できる環境・体制を整えている。	B	A				
学習指導	「学び直し」の取組を軸に、基礎・基本の習得等、基礎学力の定着を図っている。	D	A	○ベーシックスタディや週末課題の使用教材や実施方法の見直しを図る。 ○学習状況調査等の分析から生徒の実態把握に努め、保護者と連携した学びに向かう姿勢の改善を図る。 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、外部研究会への参加及び校内研修会の実施を継続させる。	B	A	A
	授業規律を徹底し、主体的・協働的に学習する態度の育成を図っている。	C	B				
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、授業改善に取り組んでいる。	C	C				
生徒指導	規範意識の向上と基本的な生活習慣の定着に取り組んでいる。	C	A	○生徒主体で挨拶や日常のマナーについて考えさせる機会を設ける。 ○登下校時や休み時間中など、教員が生徒の様子を観察する機会を増やす。また生徒の情報について教員間で速やかに情報共有する。 ○交通安全教室や情報モラル教室などの実施時期や内容について工夫する。	B	B	B
	いじめの未然防止・早期発見・早期解消に取り組んでいる。	C	B				
	事故や問題行動等の未然防止に向け、開発的・予防的な指導や相談に取り組んでいる。	C	A				
進路指導	生徒の自己実現に向け、3年間を見通した組織的・体系的な進路指導(キャリア教育)が行われている。	D	A	○生徒が直接、上級学校や企業と情報を交換できる場をこれまで以上に増やし参加を促す。 ○ICTを有効に活用し、進路情報を提供する。 ○進路に対して主体的に活動できる生徒を育成する。 ○個別面談の充実。	A	A	A
	外部の教育力を積極的に活用し、広い視野で、自らの進路を切り拓く意欲と、社会人として必要な能力の向上を図っている。	C	A				
	説明会等を通じて、保護者に進路情報の周知が行われ、適切な進路選択に向けて、保護者との連携が図られている。	C	A				
学校運営	「目指す生徒像」や「スクールミッション」を踏まえた明確な目的・目標のもと、学校として教育活動の改善・充実に取り組んでいる。	C	A	○全ての教育活動を通して、目指す生徒像の実現の取組を行った。今後は、生徒・保護者・地域住民・教職員と目指す生徒像に関わる意見交流会の実施を検討していく。 ○教職員で業務改善に向けたグループでの話し合いを行った。今後は、業務の見直しを行い、個々の業務負担の軽減を図る。	A	A	B
	教育のプロとして使命感を持ち、生徒や保護者、また地域から信頼される職員となるように努めている。	C	A				
	「働き方改革」の推進に向けて、職員の意識改革や学校運営の工夫・改善を図っている。	D	B				

A: 十分である B: おおむね十分である C: やや不十分である D: 改善を要する

# 令和4年度 学校評価 保護者アンケート結果

A: 十分である B: おおむね十分である C: やや不十分である D: 改善を要する E: わからない

領域	評価項目		評価人数					R4 学校 評価 (22名)	R3 学校 評価 (26名)	R2 学校 評価 (28名)
			A	B	C	D	E			
総務	(1)	ホームページや一斉メール配信等での情報発信を通じて、保護者との情報共有や連携を図っている。	12	9	1	0	0	<b>3.5</b>	3.5	3.4
	(2)	PTA活動が活発に行われている。	11	8	3	0	0	<b>3.4</b>	2.9	/
	(3)	施設・設備の整備や防災教育の充実により、生徒が安全・安心に生活できる環境・体制を整えている。	8	9	0	0	5	<b>3.5</b>	3.1	3.3
(学 教 務 指 導)	(4)	「学び直し」の取組を軸に、基礎・基本の習得等、基礎学力の定着を図っている。	9	10	0	0	3	<b>3.5</b>	2.5	2.7
	(5)	授業規律を徹底し、主体的・協働的に学習する態度の育成を図っている。	5	12	1	1	3	<b>3.1</b>	2.6	2.7
	(6)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、授業改善に取り組んでいる。	3	11	2	1	5	<b>2.9</b>	2.8	2.9
生徒指導	(7)	規範意識の向上と基本的生活習慣の定着に取り組んでいる。	7	11	2	0	2	<b>3.3</b>	3.1	3.1
	(8)	いじめの未然防止・早期発見・早期解消に取り組んでいる。	3	10	3	0	6	<b>3.0</b>	3.4	3.4
	(9)	事故や問題行動等の未然防止に向け、開発的・予防的な指導や相談に取り組んでいる。	5	9	3	0	5	<b>3.1</b>	3.2	3.3
生徒会指導	(10)	HR活動や生徒会活動等を通じて、自主性・自律性を育み、責任感や実践力のある生徒を育成している。	3	13	2	0	4	<b>3.1</b>	3.0	3.1
	(11)	部活動の活性化を通じて、帰属意識を高め、心豊かにたくましく生きる生徒を育成している。	3	9	3	1	6	<b>2.9</b>	2.7	3.0
	(12)	ボランティア活動への参加や、地域と連携した行事等の実施を通じて、自尊感情や自己有用感の高揚を図っている。	5	14	1	0	2	<b>3.2</b>	2.8	2.9
進路指導	(13)	生徒の自己実現に向け、3年間を見通した組織的・体系的な進路指導(キャリア教育)が行われている。	4	13	2	0	3	<b>3.1</b>	2.8	2.9
	(14)	外部の教育力を積極的に活用し、広い視野で、自らの進路を切り拓く意欲と、社会人として必要な能力の向上を図っている。	3	15	1	0	3	<b>3.1</b>	3.1	3.1
	(15)	説明会等を通じて、保護者に進路情報の周知が行われ、適切な進路選択に向けて、保護者との連携が図られている。	7	12	1	0	2	<b>3.3</b>	3.2	3.1
保健相談	(16)	健康で安全な生活に向けて、自己管理ができるよう、意識の高揚と実践力の育成を図っている。	5	14	1	0	2	<b>3.2</b>	2.9	3.3
	(17)	各種健康診断や学習・生活環境の整備等を通じて、健康安全管理体制の充実を図っている。	7	13	1	0	1	<b>3.3</b>	3.3	3.3
	(18)	教育相談体制充実により、スクールカウンセラーの面談等により、個々の生徒に応じた適切な支援を行っている。	2	9	2	0	9	<b>3.0</b>	3.3	3.3
学校運営	(19)	「目指す生徒像」や「スクールミッション」を踏まえた明確な目的・目標のもと、学校として教育活動の改善・充実に取り組んでいる。	3	10	2	0	7	<b>3.1</b>	2.9	2.9
	(20)	教育のプロとして使命感を持ち、生徒や保護者、また地域から信頼される職員となるように努めている。	5	11	2	1	3	<b>3.1</b>	3.0	3.2
	(21)	「働き方改革」の推進に向けて、職員の意識改革や学校運営の工夫・改善を図っている。	3	8	3	0	8	<b>3.0</b>	2.6	2.9

※R2(2)PTA活動中止のため、評価なし。

平均 3.2 3.0 3.1

# 令和4年度学校評価結果(教職員)

A: 十分である B: おおむね十分である C: やや不十分である D: 改善を要する

領域	評価項目	評価人数				学校評価	R3 学校評価	R2 学校評価
		A	B	C	D			
総務	(1) ホームページや一斉メール配信等での情報発信を通じて、保護者との情報共有や連携を図っている。	13	33	1	0	<b>3.3</b>	3.5	3.4
	(2) PTA活動が活発に行われている。	6	36	5	0	<b>3.0</b>	2.9	
	(3) 施設・設備の整備や防災教育の充実により、生徒が安全・安心に生活できる環境・体制を整えている。	5	39	3	0	<b>3.0</b>	3.1	3.3
(学 教 務 指 導)	(4) 「学び直し」の取組を軸に、基礎・基本の徹底等、学力の向上を図っている。	1	26	17	3	<b>2.5</b>	2.5	2.7
	(5) 授業規律を徹底し、主体的・協働的に学習する態度の育成を図っている。	0	33	12	2	<b>2.7</b>	2.6	2.7
	(6) 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して、授業改善に取り組んでいる。	1	28	16	2	<b>2.6</b>	2.8	2.9
生徒指導	(7) 規範意識の向上と基本的生活習慣の定着に取り組んでいる。	3	27	14	3	<b>2.6</b>	3.1	3.1
	(8) いじめの未然防止・早期発見・早期解消に取り組んでいる。	4	33	8	2	<b>2.8</b>	3.4	3.4
	(9) 事故や問題行動等の未然防止に向け、開発的・予防的な指導や相談に取り組んでいる。	4	28	13	2	<b>2.7</b>	3.2	3.3
生徒会指導	(10) HR活動や生徒会活動等を通じて、自主性・自律性を育み、責任感や実践力のある生徒を育成している。	2	33	10	2	<b>2.7</b>	3.0	3.1
	(11) 部活動の活性化を通じて、帰属意識を高め、心豊かにたくましく生きる生徒を育成している。	0	26	16	5	<b>2.4</b>	2.7	3.0
	(12) ボランティア活動への参加や、地域と連携した行事等の実施を通じて、自尊感情や自己有用感の高揚を図っている。	1	30	13	3	<b>2.6</b>	2.8	2.9
進路指導	(13) 生徒の自己実現に向け、3年間を見通した組織的・体系的な進路指導(キャリア教育)が行われている。	2	24	16	5	<b>2.5</b>	2.8	2.9
	(14) 外部の教育力を活用し、自らの進路を切り拓く意欲と、社会人として必要な能力の向上を図っている。	5	24	16	2	<b>2.7</b>	3.1	3.1
	(15) 説明会等を通じて、保護者に進路情報の周知が行われ、適切な進路選択に向けて、保護者との連携が図られている。	4	36	7	0	<b>2.9</b>	3.2	3.1
保健相談	(16) 健康で安全な生活に向けて、自己管理ができるよう、意識の高揚と実践力の育成を図っている。	3	31	12	1	<b>2.8</b>	2.9	3.3
	(17) 各種健康診断や学習・生活環境の整備等を通じて、健康安全管理体制の充実を図っている。	8	31	7	1	<b>3.0</b>	3.3	3.3
	(18) 教育相談体制の充実により、個々の生徒に応じた適切な支援を行っている。	14	28	4	1	<b>3.2</b>	3.3	3.3
学校運営	(19) 「重点目標」「育成を目指す資質能力」を踏まえ、職員が一丸となって教育活動の改善・充実に取り組んでいる。	3	40	2	2	<b>2.9</b>	2.9	2.9
	(20) 教職員が教育のプロとしての自信と使命感を持ち、生徒や保護者、また地域から信頼されるように努めている。	4	33	9	1	<b>2.9</b>	3.0	3.2
	(21) 「働き方改革」の推進に向けて、職員の意識改革や学校運営の工夫・改善を図っている。	0	22	16	9	<b>2.3</b>	2.6	2.9

※R2(2)PTA活動中止のため、評価なし。

平均 2.8 3.0 3.1

# 令和4年度 自己評価書

学校名	北海道北広島西高等学校
-----	-------------

## 1 本年度の重点目標

<目指す生徒像> (1)真摯な姿勢で、最後までやり遂げる生徒 【責任感・継続力・自己管理能力】 (2)心配りができ、豊かな人間関係を築ける生徒 【自己理解・他者理解・協働力】 (3)上向きな心で、主体的に挑戦し、努力する生徒 【自己肯定感・主体性・探究心】 <スクールミッション> (1)向学心や探究心を身に付け、自己の進路決定に向けて意欲的に学習に取り組む生徒の育成 (2)集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成 (3)責任感や社会性を培い、真摯な姿勢で物事に取り組むことのできる生徒の育成
--

## 2 学校評価結果及び改善方策

A= 3.3以上 B= 3.0以上 C= 2.9以下 D= 2.5以下

評価項目・指導等		達成 状況	取組 の適 切さ	今後の改善方策
項目	小項目			
保護者・ 連携等 の	ホームページや一斉メール配信等での情報発信を通じて、保護者との情報共有や連携を図っている。	A	A	○ICTを活用した保護者・地域との連携を検討する。 ○安全点検確認の充実と管理マニュアルの徹底。
	PTA活動が活発に行われている。	B	A	
	施設・設備の整備や防災教育の充実により、生徒が安全・安心に生活できる環境・体制を整えている。	B	A	
学習指導	「学び直し」の取組を軸に、基礎・基本の習得等、基礎学力の定着を図っている。	D	A	○ベーシックスタディや週末課題の使用教材や実施方法の見直しを図る。 ○学習状況調査等の分析から生徒の実態把握に努め、保護者と連携した学びに向かう姿勢の改善を図る。 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、外部研究会への参加及び校内研修会の実施を継続させる。
	授業規律を徹底し、主体的・協働的に学習する態度の育成を図っている。	C	B	
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、授業改善に取り組んでいる。	C	C	
生徒指導	規範意識の向上と基本的生活習慣の定着に取り組んでいる。	C	A	○生徒主体で挨拶や日常のマナーについて考えさせる機会を設ける。 ○登下校時や休み時間中など、教員が生徒の様子を観察する機会を増やす。また生徒の情報について教員間で速やかに情報共有する。 ○交通安全教室や情報モラル教室などの実施時期や内容について工夫する。
	いじめの未然防止・早期発見・早期解消に取り組んでいる。	C	B	
	事故や問題行動等の未然防止に向け、開発的・予防的な指導や相談に取り組んでいる。	C	A	
進路指導	生徒の自己実現に向け、3年間を見通した組織的・体系的な進路指導(キャリア教育)が行われている。	D	A	○生徒が直接、上級学校や企業と情報を交換できる場をこれまで以上に増やし参加を促す。 ○ICTを有効に活用し、進路情報を提供する。 ○進路に対して主体的に活動できる生徒を育成する。 ○個別面談の充実。
	外部の教育力を積極的に活用し、広い視野で、自らの進路を切り拓く意欲と、社会人として必要な能力の向上を図っている。	C	A	
	説明会等を通じて、保護者に進路情報の周知が行われ、適切な進路選択に向けて、保護者との連携が図られている。	C	A	
学校運営	「目指す生徒像」や「スクールミッション」を踏まえた明確な目的・目標のもと、学校として教育活動の改善・充実に取り組んでいる。	C	A	○全ての教育活動を通して、目指す生徒像の実現の取組を行った。今後は、生徒・保護者・地域住民・教職員と目指す生徒像に関わる意見交流会の実施を検討していく。 ○教職員で業務改善に向けたグループでの話し合いを行った。今後は、業務の見直しを行い、個々の業務負担の軽減を図る。
	教育のプロとして使命感を持ち、生徒や保護者、また地域から信頼される職員となるように努めている。	C	A	
	「働き方改革」の推進に向けて、職員の意識改革や学校運営の工夫・改善を図っている。	D	B	

A: 十分である B: おおむね十分である C: やや不十分である D: 改善を要する